

支出証拠書

(会派名・議員氏名・自民改革会議・鈴木澄美)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	天浜線議員連盟による宇都宮 LRT 視察		
年月日	令和6年1月16日～	令和6年1月17日	金額 36,174円

目的	芳賀・宇都宮 LRT (ライトレール) 事業の構想から事業化、今後の展開と効果などを調査し検証する。		
使途	交通費および宿泊費等		
政務活動・ 県政との 関連性	人口減少や高齢化が進行する中、コンパクトシティ アンド ネットワーク構想に基づくまちづくりが急務となっている。本県内では構想段階にすぎず、その先進事例を学ぶ価値は高い。ネットワークを構成する交通手段は様々であるが、LRT を核としてそれに連携する公共交通の再編など、本県の今後の取組には大きな参考事例となる。		
<<領収書貼付枠>> 別払い分 往路 新幹線 (新富士駅から宇都宮駅) 10,210円 公務のため、16日の視察に間に合わず往路交通費は自分で購入 復路 新幹線 (宇都宮駅から新富士駅) およびバス貸切代等 宿泊費等は遠州鉄道に支払い 24,670円 往復 LRT 乗車代 (宇都宮駅から車両基地まで) 400円 ほか 別紙② ③ ⑤分 894円 合計 36,174円 ②③⑤の領収書原本は、伊藤謙一議員：3-14-1-1 に添付			

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	36,174円	100%	36,174円

1-6-1-1

14:05 61%

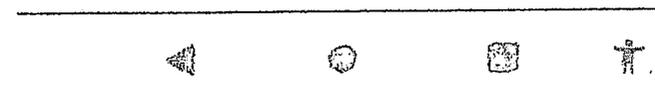
← SF利用履歴 ?

年月日	種別	利用場所	残高/差額
-----	----	------	-------

年月日	種別	利用場所	残高/差額

1/17	バス等	宇都宮LR	残高 ¥4,238 -200
1/17	バス等	宇都宮LR	残高 ¥4,438 -200

年月日	種別	利用場所	残高/差額
-----	----	------	-------



1-6-1-1

B No. 616379

領 収 証

2024年1月23日

鈴木 澄美 様

金額		百	千	円
			24670	

現金
振込
カード
相殺
その他

収入印紙

但し 1/16 ~ 視察費用と記

上記の金額正に領収致しました。

内訳

	税込金額	消費税額
10%	24,670 円	(2,243 円)
8%		(円)
非課税 不課税		円



遠州鉄道株式会社

〒430-8655 浜松市中区旭町12番地の1
登録番号 T508649000792



扱
者
印

※社印、扱者印のないものまたは金額を訂正したものは無効です。

新富士駅

領収書 No 106
窓口 No 1

駅 No 51201510

領 収 書

様

金額 ¥10,210円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

2024年1月15日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: 13180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

納 税 申 告 紙 印
村につき名古屋中村
税務署 承認済

新富士駅

現金出納社員

1-6-1-1

令和6年1月24日

静岡県議会議員 鈴木 澄美 様

天竜浜名湖鉄道の利活用促進・公共交通の
ありかたについての調査研究議員連盟事務局

天浜・公共交通議連視察（1月16日～17日）に係る経費について（報告）

標記視察につきましては、大変お疲れ様でした。

さて、食事代など事務局にて一括して支払いを行った分について、下記のとおりとなりましたので、報告いたします。

記

鈴木議員

(単位：円)

項目	負担分		参考 総額	領収書 No.
	(預かり)	(支出)		
預かり金①（旅行会社手配分）	25,000			
貸切バス代				原本配布 (参考： 見積①)
ホテル代		13,800		
きっぷ代		10,870		
小計	25,000	24,670		
預かり金②（事務局直接支払分）	10,000			
境町自動運転バス視察料				
宇都宮LRT説明会議室等使用料		758	12,140	②③
手土産代（1か所）		136	2,179	⑤
昼食代				
夕食代		7,692	147,000	⑧
小計	10,000	8,586		
返金額		1,744		

事務局：都市局地域交通課 松井
電話：054-221-2852

領収書④

GRAND KIOSK

領 収 書

グランドキヨスク静岡
TEL: 054-273-6112

2024年 1月16日(火) 8:48 No:0004

うなぎパイ24本	※	¥2,179
内税8%対象額	8.00%	¥2,179
内税8%	8.00%	¥161
合 計		¥2,179
お 預 り		¥10,000
(消費税等)		¥161
お 釣 り		¥7,821

※は軽減税率(8%)対象商品
登録番号: T8180001031531
取引No 143 1点買

1/16
境町自動運転バス手土産

122円 × 1名 (端数は増田会長負担)

121円 × 17名

1-6-1-1

領収書⑤

GRAND KIOSK

領 収 書

グランドキヨスク静岡
TEL: 054-273-6112

2024年 1月16日(火) 8:48 No:0004

うなぎパイ24本	※	¥2,179
内税8%対象額	8.00%	¥2,179
内税8%	8.00%	¥161
合 計		¥2,179
お 預 り		¥2,200
(消費税等)		¥161
お 釣 り		¥21

※は軽減税率(8%)対象商品
登録番号: T8180001031531
取引No 8144 1点買

1/17
宇都宮ライトレール手土産

139円 × 1名 (端数は増田会長負担)

136円 × 15名

1 ②視察行程

1-6-1-1

1日目 1月16日(火)

時刻	予 定
(参考)	浜松 _____ 掛川 _____ 静岡 _____ 三島 _____ 熱海 _____ 東京 こだま702号 8:26 8:38 8:57 9:24 9:32 10:18
10:30	集合 東京駅「八重洲南口」 (駐車場まで徒歩移動)
10:40	貸し切りバス乗車 鍛冶橋駐車場
10:45~12:00	移動
12:20~13:00	昼食 境町「ぼんどう太郎総本店」
13:00~13:30	移動(貸し切りバス)
13:30~15:30	視察1 境町自動運転バス ・自動運転バス試乗(3回に分けて順次試乗) A班 「高速バスターミナル」 B班 「エコス」 C班 「道の駅さかい」 (株)セネック ・事業説明((株)セネック) ※ 加藤・河原崎・赤堀県議 離脱
15:45~17:15	移動(貸し切りバス)
17:15~18:00	チェックイン 「カンデオホテルズ宇都宮」フロント13F 栃木県宇都宮市宮みらい1-1 電話:028-612-3107
18:00~18:30	移動(貸し切りバス)
18:30~20:30	懇親会 「とちぎ家」 栃木県宇都宮市本町13-13 本町ビル2F 電話:028-616-3751

2日目 1月17日(水)

時刻	予 定
9:10	集合 「カンデオホテルズ宇都宮」フロント13F ※ チェックアウト、大きな荷物フロントへ預ける
9:10~9:30	移動(徒歩)
9:30~11:45	視察2 宇都宮ライトレール ・事業説明 「ライトキューブ宇都宮」1F会議室 ・試乗 「宇都宮駅東口」~「平石」 ・施設説明(トランジットセンター・車両基地)
11:45	解散
(参考)	平石 _____ 宇都宮駅東口 宇都宮LRT 11:48 12:04 ※ 各自昼食前後、荷物受け取り
12:04~13:45	昼食等(各自)
(参考)	宇都宮 _____ 東京 _____ 熱海 _____ 三島 _____ 静岡 _____ 浜松 _____ つばさ140号 13:59 14:48 こだま735号 14:57 15:43 15:55 16:18 16:51 ひかり517号 15:03 15:46 16:02 16:31

県外調査概要書

令和6年1月17日

会派名・議員氏名 自民改革会議 鈴木澄美

目的	芳賀・宇都宮 LRT (ライトレール) 事業の構想から事業化、今後の展開と効果などを調査し検証する。
年月日	令和6年1月16日 (火) ~17日 (水)
場所	説明：ライトキューブ宇都宮 1F 会議室 試乗：宇都宮駅東口から平石 (車両基地)
内容	<p>(1から3までは 伊藤謙一県議報告書 3-14-1-1を参照)</p> <p>1. 行程 (往) (新宿駅~平石駅) ~ (復) 新富士~熊(早) (補足説明 1月16日は公務のため夕方現地にて合流)</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>4 県政への反映</p> <p>少子高齢化・人口減少が進む中、公共交通の確保は重要な課題として取り組むべき課題である。公共交通には電車やバスなどがあるが、どれも利用者数とそれに見合う事業経営とのバランスが取れず、特に地方では年々、公共交通網が縮小しており、その維持は行政や事業者だけでなく、利用者もそれぞれが果たす役割がある。</p> <p>この課題解消に向けた取組は、先進事例を学ぶことも必要で、まちづくりの一環 (コンパクトシティの実現に向けた交通ネットワーク) として進めている、栃木県宇都宮市で事業化した「芳賀・宇都宮 LRT 事業」を視察した。</p> <p>視察で全国を訪れると、いわゆる「路面電車」が走っている都市がある。ここ数ヶ月の間に公務等で訪れた広島市や高知市などでも見かけた。静岡県内でもかつては旧清水市や沼津市などでも走っていた記憶がある。</p>

公共交通が衰退する理由の一つとして、自家用車の普及がある。日本自動車工業会の資料によれば、21年の乗用車世帯保有率は77.9%。乗用車複数保有率は34.5%。乗用車世帯保有率は地方圏で高く、公共交通の利用は低くなっている。別の資料では都道府県毎の自動車普及率の順位は、令和4年度調査で静岡県は18位となっている。しかし、同じ県内でも地域によって異なり、私の地元の最近のデータは見つからなかったが、県よりも高かったように記憶している。

地元にはJ・R線と私鉄（岳南電車）および路線バスが公共交通として頑張っているが、特にバス路線は見直しがある度に、どこかの路線が減便か廃線となる報道記事が気になっていた。

宇都宮市がなぜLRTを導入したかについては、まちづくりの将来に向けた公共交通の確保がある。現在では、LRTの整備は宇都宮市東部の交通渋滞の緩和のためと見ている市民もいるようだが、宇都宮市が少子高齢化に人口減少が加わる厳しい社会を生き抜くためには、車が運転できなくても多くの人々が市内を移動でき、健康で元気に生活していくための公共交通ネットワークを作ることが必要で、その重要な課題解決に向け、LRTを導入したとしている。

他の交通手段でもいいように思うが、LRTを選択したのは「時間に正確で輸送力が大きい」ことをあげている。新しい仕組み（LRT）を導入することで生まれる、移動時間の効率向上、外出機会の増加による消費の維持などの効果により、経済の停滞を防ぎ、宇都宮市が元気であり続け、市内外の多くの人や企業から選ばれるまちとなるよう、人が動きやすい公共交通ネットワークの構築が目的である。

この導入に際し、背景にあるのは、国が示す「ネットワーク型コンパクトシティ」がある。私の地元でも令和5年3月に策定した「富士市集約都市づくり推進戦略」には、「コンパクト・プラス・ネットワークの推進」が謳われており、まちづくりの視点から公共交通のあり方を検討していく必要がある。

宇都宮市では、100年先も持続的に発展し続けられるまちの土台として、ネットワーク型コンパクトシティを位置づけている。これまでの市及びその周辺地域の成り立ちを踏まえ、中心市街地に加え、それぞれの地域拠点、産業、観光拠点にまちの機能を集約し拠点化するためには、LRTやバスなどの利便性の高い公共交通ネットワークを構築することが必要と説明していた。

説明を聞き、従来のコンパクトシティの考え方が中心市街地に主眼を置いていたと理解しているが、複数の拠点に目を向け、それをネットワーク化することにより、より地域の特色を活かしたまちづくりが可能と受け止めている。また、過度な自動車に頼らず、快適な生活ができる環境をつくることで、SDG'sなど環境に配慮したま

	<p>ちづくりが可能となる。</p> <p>全国では事例がほとんど無く、本県においても各自治体での構想づくりは進んでいるようだが、具体的な取組はこれからであり、今回の視察は本県にとっても好事例として受け止めている。</p> <p>一方で、LRTは交通ネットワークの基軸であり、他の交通手段との連携も必要となり、それらも含め膨大な投資を伴う事業となる。他の交通インフラ整備も検討項目に含め、最大限の費用対効果が得られるものを模索していく必要がある。 以上</p>
--	--

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木澄美)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	難聴対策議連 横浜市総合リハビリテーションセンター視察		
年月日	令和6年1月29日～	令和6年1月29日	金額 13,880円

目的	難聴乳幼児の療育システムを学ぶため、横浜市総合リハビリテーションセンターを視察した。
使途	交通費
政務活動・ 県政との 関連性	静岡県では、難聴支援を積極的に進める流れができつつあるが、早期発見・早期治療を実現するための新生児聴覚スクリーニング体制および人工内耳への関心等は高まりつつあるものの、その後の療育体制についてはこれからというのが現状である。本県も難聴対策の全体像を明確にして、どのように進めていくかが重要であり、県行政としての推進を加速するためには、県所管部署だけでなく県議会も積極的に関与することが必要である。

《領収書貼付枠》

別払い分

往路 新幹線 (新富士駅から新横浜駅)	4,510円	(自由)
復路 新幹線 (新横浜駅から新富士駅)	4,530円	(指定)
小計	9,040円	
バス貸切代	4,620円	
振込手数料	220円	
小計	4,840円	
合計	13,880円	

ご利用明細  静岡銀行

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年月日	振替先店番・科目・口座番号
06 02 05	091
銀行番号	店番号 科目 口座番号

お取扱店	お取引内容	お取引金額
0273	お引出し	¥4,620
お取扱枚数	*****	
おつり	残高	*****
キャッシング	手数料 時刻	お取扱いできない場合
	¥22014480151	

お振込先明細・ご案内

システムオカ
ホントン
普通 1438220
システムツシヨイステツフ・ハス(カ)様

システムキ スミヨシ 様
TEL0545-34-0683

06.520.38 (裏面もご覧ください)

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	13,880円	100%	13,880円

領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM

鈴木澄美

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER 2038

クレジットカード番号
CARD NUMBER



金額計
TOTAL AMOUNT

¥4,510 (10%・税込)
(クレジットカード利用・Credit card use)

内容
DETAIL

乗車券類のご購入代金
TICKETS PRICE

購入日
DATE OF PURCHASE

2024年1月28日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

2024年1月29日

列車名・券種
利用区間

EX自由席
新富士
FROM

新横浜
TO

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



領収書
RECEIPT宛名
RECEIVED FROM

鈴木澄美

様

お預かり番号
RESERVATION NUMBER

2040

クレジットカード番号
CARD NUMBER金額計
TOTAL AMOUNT¥4,530 (10%・税込)
(クレジットカード利用・Credit card use)内容
DETAIL乗車券類のご購入代金
TICKETS PRICE購入日
DATE OF PURCHASE

2024年1月29日

乗車日
DATE OF DEPARTURE

2024年1月29日

列車名・券種
利用区間こだま755号
新横浜
FROM新富士
TO東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569

県外調査概要書

令和6年1月29日

会派名・議員氏名 自民改革会議 鈴木澄美

目的	難聴乳幼児の療育システムを学ぶため、横浜市総合リハビリテーションセンターを視察した。
年月日	令和6年1月29日(月)
場所	横浜市総合リハビリテーションセンター会議室及び療育施設
内容	<p>(1から3までは 望月香世子 県議報告書 ヲ-8-1-10 を参照)</p> <p>1 行程</p> <p>2 対応者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>4 県政への反映</p> <p>静岡県では、難聴支援を積極に進める流れができつつあるが、早期発見・早期治療を実現するための新生児聴覚スクリーニング体制および人工内耳への関心等は高まりつつあるものの、その後の療育体制についてはこれからというのが現状である。本県も難聴対策の全体像を明確にして、どのように進めていくかが重要であり、県行政としての推進を加速するためには、県所管部署だけでなく県議会も積極的に関与することが必要である。</p> <p>本県議会には自民党難聴対策推進議員連盟があり、県立総合病院の難聴に関する専門医師等を招聘し勉強会を重ね、県当局に難聴支援のための提言や要望活動を行ってきた。</p> <p>直近の勉強会では、難聴児の療育体制の構築が本県として今後の課題であり、ろう特別支援学校の教育体制に加え、療育体制の確立を目指すことが求められている。</p>

今回の視察では、①横浜市の療育システム。②横浜市総合リハビリテーションセンター児童発達支援センター（難聴）における療育と保護者支援。③市内関係機関との連携。④横浜市内難聴乳幼児シミュレーションと実態調査（2022）。⑤その他難聴重複外来について説明を受けた。

説明者は、リハビリテーションセンターの難聴幼児課長で、言語聴覚士として30年の経験がある。リハビリテーションセンターの設置から35年経過しており、ほぼ設立当時の状況を把握しており、時代とともに変化してきた難聴対策の課題を熟知した経験を踏まえ、私たちにとってはとても分かりやすい説明で、私たちが求める課題に応じていただいた。

①に関しては、横浜市の中核および地域医療センターの構成や役割について。市内難聴乳幼児の支援の流れ（新生児聴覚スクリーニングにおける医療体制）と難聴の状況に応じた支援体制の確立（乳幼児期の療育・教育の役割分担を明確にし、ろう特別支援学校・リハビリテーションセンター・地域医療センターへの適切な振り分け）。ライフステージ（乳幼児期から成人期まで）に沿った教育・療育・医療支援について説明があった。

②に関しては、支援体制は、児童発達支援センター（難聴）機能と外来機能を併せ持ち、9名の言語聴覚士が対応している。現在、0歳児から5歳児まで52名が在籍している。外来では小児の言語発達障害、難聴重複障害、構音障害、吃音、学習障害などの障害の評価と療育に対応しており、同じ部署が外来から通園を担当することにより初診から難聴通園入園に至る過程がスムーズであるとしている。課題は、療育室の不足や言語聴覚士の不足を挙げていた。

③では、難聴児を担当する期間のライフステージに沿った縦・横の連携。各機関の言語聴覚士の連絡会などの情報交換や共有、相談の場として連携している。

④は難聴出現率が0.15%と想定し、難聴児数に基づく難聴単独障害、難聴重複障害の人数からそれぞれの支援機関の予想人数を割り出し、体制の確保を目指している。

聞こえる子どもと聞こえない子ども（難聴乳幼児）が生活の中でどのように周囲を理解し、成長していくかについて、それぞれの子どもの立場で説明を受けたが、大変分かりやすく納得ができた。その解決のために、難聴の療育と教育が重要で、ことば

(音声言語・手話)、コミュニケーション、認知、社会性、情緒などを子どもに伝えていくためには、児童発達支援センター（難聴）だけではなし得なく、多くの時間を一緒に過ごす保護者の難聴に関する理解と子どもへの適切な関わりが重要であるとしている。

現実には、両親共働きもあり難聴乳幼児とどう接するか、理解を得ることが難しいこともあるようだが、「9歳の壁」という言葉があるようで、この時期までにやらなければならないことを、どう保護者に理解していただき行動していただくかは、大きな課題と感じている。

このため、センターでは、戸別療育のほか、グループ療育、保護者支援に力を注いでいる。

今回の視察では、難聴対策のうち療育や教育についてその重要性や取組内容を学ぶことができた。特に難聴対策の全体像、システム構築の在り方を知ることにより支援策の全体像が見え、本県の取組状況と課題が見えてきた。視察の成果を踏まえ、県所管部署担当者も同行したことにより、より実現に向けた対策が講じられると考えている。

以上

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木澄美)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	携帯電話およびデータ通信費		
年月日	引き落とし日 令和6年2月29日	金額	2,667円

目的	調査研究など政務活動を行うための通信手段					
使途	令和6年2月請求分					
政務活動・ 県政との 関連性						
<領収書貼付枠> 令和4年3月より利用契約を変更(データ通信量の見直し) 基本料金 データ通信 5Gギガライト(～1GB) 3,150円(通信料) かけ放題定額料 1,700円(通話料) (小計) 4,850円 消費税 485円(消費税10%) 合計 5,335円						
	年月日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備考
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9	06-02-29	BF	*6,163	トコモ ケイタイ	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	私用と案分	5,335円	1/2 50%

内訳項目: 金額 (円) BREAKDOWN BY CATEGORY (YEN)	内訳金額 (円) AMOUNT (YEN)	内訳等詳細 (DETAILS OF BREAKDOWN)	税区分 (TAX)
◆		ご利用期間 (1/1 ~ 1/31)	
◇基本使用料等 (計) 3,150	3,150	5Gギガライト	ステップ1: ~1GB
	2,850	(内訳) 5Gギガライト	
	300	(内訳) spモード利用料	
	0	(参考) 高速通信ご利用データ量は	0.1G
◇通話料・通信料 (計) 1,700	1,700	かけ放題オプション定額料	合 算
◇その他ご利用料金等 (計) 753	750	ケータイ補償サービス (750円コース)	合 算
	2	ユニバーサルサービス料/基本	1番号あたり2円のご請求となります
	1	電話リレーサービス料/基本	1番号あたり1円のご請求となります
◇消費税等相当額 (計) 560	560	消費税等相当額 (合計)	合算表示の料金合計 × 10%
◇合計 6,163	6,163	合計	
		<NTTドコモからのお知らせ>	
		○継続利用期間は、1月末で	12年8か月となりました。
		○ポイントのお知らせ	
		1月ご利用分に対する獲得ポイントは、	0です。
		(ポイント進呈の対象になるご利用金額は、	5,603円です。)
		※その他の獲得ポイントはWE日をご確認ください。	

ユニバーサルサービス料について
 ユニバーサルサービス料は、あまねく日本全国においてユニバーサルサービス (NTT東西の加入電話等) の提供を確保するためにご負担いただく料金です。
 なお、社団法人電気通信事業者協会から1番号当たりの費用 (番号単価) が公表されています。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木澄美)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	事務員雇用		
年 月 日	令和6年1月1日 ~ 令和6年1月31日	金 額	66,500円

目 的	調査研究など政務活動を補助する職員を雇用
使 途	令和6年1月分給与
政務活動・ 県政との 関連性	
<<領収書貼付枠>> 給与明細書 令和6年1月分	

氏 名	給 与	手 当	支給総額	控 除	差引支給額	受領印
████████	133,000	0	133,000	0	133,000	████████

雇用時間数 133.0h × 単価 1,000円 = 給与総額 133,000円
 133,000 × 1/2 = 66,500円 (政務活動費充当)

案分の理由 後援会との案分	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	133,000円	1/2 %	

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木澄美)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・ <u>事務所費</u> ・人件費		
内容	事務所賃借料		
年月日	令和6年1月1日～令和6年1月31日	金額	49,500円

目的	調査研究など政務活動を行うための事務所の賃借
使途	令和6年1月分賃借料 (水道光熱費、ファックス・コピー等使用料、駐車場分を含む)
政務活動・ 県政との 関連性	
<<領収書貼付枠>> 領収書は、それぞれ発行	

案分の理由 後援会との案分	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	99,000円	1/2 50%	49,500円

1-6-1-5

領 収 証

令和6年1月31日

印 紙
円

鈴木 澄美 様

¥ 4 9 , 5 0 0 ※

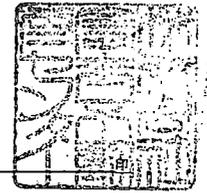
(現金・小切手)

但 富士市比奈1418番地の2、1月分事務所賃料
水道光熱費・通信費および駐車場の賃料

内
訳

政務活動+後援会 合計99,000円(政務活動費分按分1/2 49,500円)
事務所賃料:60,000円 水道光熱事務・通信費:24,000円 駐車場3台分:15,000円
上記金額正に領収致しました。

住 所 富士市比奈1418番地の2
株式会社 富士不動産センター
氏 名 代表取締役 鈴木 茂樹



キトリセン

月 日	内 容	行 程	走行距離(km)
1月4日	富士岡地区急傾斜地がけ崩れ対策の協議	自宅-富士土木事務所 (往復)	16
1月5日	富士地域医療体制の整備について相談	自宅-県庁 (往復)	96
1月12日	富士商工会議所新年賀詞交歓会にて政財界との意見交換	自宅-富士商工会議所 (往復)	14
1月12日	看護団体との意見交換	自宅-フラザヴェルテ (往復)	56
1月15日	歯科医師会令和6年度要望調査	自宅-県庁 (往復)	96
1月16日	須津交番開所式と地元防犯ボランティアとの意見交換	自宅-須津交番 (往復)	8
1月16日	宇都宮LRT視察 (往路)	自宅-新富士駅 (往復)	16
1月17日	宇都宮LRT視察 (復路)	自宅-新富士駅 (往復)	16
1月17日	富士市医師会、歯科医師会、薬剤師会との意見交換	自宅-ホテルグランド富士 (往復)	20
1月18日	津波避難対策について危機管理部との意見交換	自宅-県庁 (往復)	96
1月19日	富士市商工会との意見交換会	自宅-富士市商工会事務所 (往復)	28
1月20日	富士地区土地家屋調査士会及び行政書士会との意見交換	自宅-ホテルグランド富士 (往復)	20
1月22日	港津敷連清水港・田子の満港視察	自宅-県庁 (往復)	96
1月23日	富士市トラック協会との意見交換	自宅-ホテルグランド富士 (往復)	20
1月24日	ノーベル賞受賞者吉野彰氏講演聴講	自宅-ロゼシアター (往復)	14
1月26日	県東部宅建協会会員との意見交換	自宅-沼津リバーサイドホテル (往復)	48
1月26日	静岡県行政書士会賀詞交歓会における関係者との意見交換	自宅-ホテルアソシア (自宅)	96
1月27日	静岡県産工業連合会富士支部会員との意見交換	自宅-ホテルグランド富士 (往復)	20
1月28日	ふじのくに子ども観光大使事業視察	自宅-富士市丸火公園 (往復)	30
1月28日	富士市松野地区令和6年災害対策要望意見交換	自宅-松野市場町公会堂 (往復)	32
1月29日	避難対策推進横浜市総合リハビリセンター視察	自宅-新富士駅 (2往復)	32
1月31日	令和6年度予算要望説明	自宅-県庁 (往復)	96
合 計			966